

# AREC・Fiiプラザ 第136回リレー講演会

## 成形・金型・切削・切削工具・メッキ分野

■日時：平成24年7月19日（木） 15:00~18:00 ※終了後、交流会開催

■場所：AREC [上田市産学官連携支援施設] 4階

(上田市常田3-15-1 信州大学繊維学部内 Tel: 0268-21-4377)

### 講演1

15:00~16:00

#### 演題 『結像を用いた工具の位置検出に関する研究』

講師：国立長野高専 電子制御工学科 助教 鈴木 伸哉 氏

**概要** エンドミルなどの工具の位置検出には接触式の検出が行われているが、マイクロ工具といった特殊な用途では、光学的な結像を用いた非接触の位置検出が行なわれていることもある。本報では、光学系の開口数に対する工具形状の光学シミュレーションした検討結果を報告する。

### 講演2

16:00~16:50

#### 演題 『効率加工を実現するための期待される切削工具保持具』

講師：株式会社アルプスツール 技術開発コーディネータ 瀬畑 雅男 氏

**概要** 切削工具保持具(ツールホルダ)は、その時代背景(生産性・自動化・加工技術・・・)を受けて進化している。近年の複合加工機の出現、拡大により、工作機械の分類、加工工程の壁が払拭されようとしている今、ツールホルダの機能の変遷を辿り、当社が現在最良と考え、力を入れているツーリングシステムを紹介しながら、理想のツールホルダについて皆様と一緒に考えてみたい。

休憩

### 講演3

17:00~17:50

#### 演題 『CFP(冷鍛順送)工法による次世代自動車部品の低コスト化』

講師：株式会社サイバックコーポレーション VT研究所 長田 直樹 氏

**概要** 次世代自動車の普及にあたり、軽量・高精度・高効率といった特性を満たした上で低コストにて部品を製造する技術が求められています。「CFP(冷鍛順送)工法」はプレス加工と鍛造加工を融合した工法で、従来切削等の他工法で製造されていた部品をCFP工法へ工法転換することにより低コスト化が可能です。本講演ではCFP工法の適用事例と、次世代自動車向け部品の開発技術の紹介をいたします。

主催：AREC・Fiiプラザ/財団法人上田繊維科学振興会 共催：公益財団法人長野県テクノ財団 浅間テクノポリス地域センター

●お申込先 AREC・Fiiプラザ事務局 宛

メール ([mousikomii@arecplaza.jp](mailto:mousikomii@arecplaza.jp)) またはファックス (0268-21-4382) でお申し込みください。

AREC・Fiiプラザ 第136回リレー講演会 参加申込書		(平成24年7月19日)	
企業・機関名			
参加者名			
所属・役職	電話番号		
メールアドレス	ファックス番号		

※ご記入いただいた個人情報(御社名、所属・役職、氏名)は受付名簿としてのみ使用し、他の用途には一切利用いたしません